

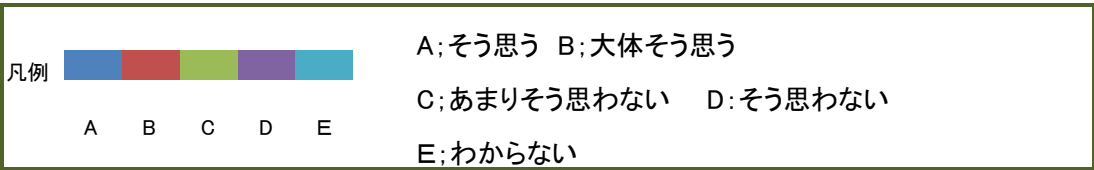
令和7年度 第1回学校評価アンケート結果

八王子市立浅川中学校学校運営協議会

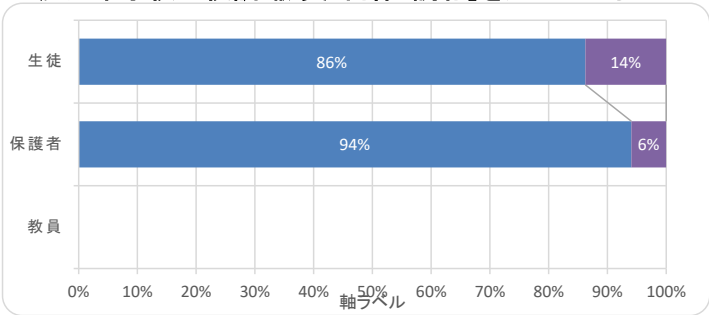
アンケート実施期間: 令和7年7月1日～26日

保護者アンケート回収率: 56%
生徒アンケート回収率: 87%
教員アンケート回収率: 96%

1年	対象139人・回収 73人→回収率53%	対象は生徒数
2年	対象134人・回収 65人→回収率49%	
3年	対象117人・回収 81人→回収率69%	保護者回収率(内訳)

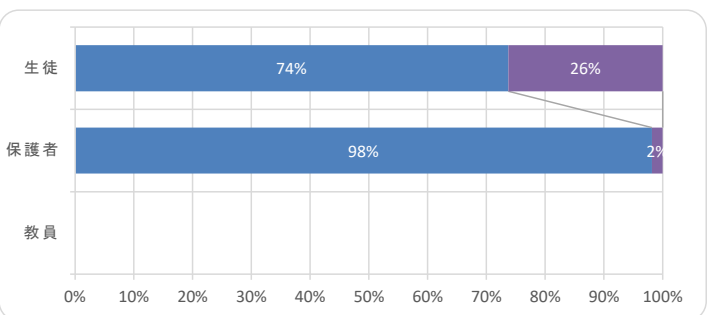


1. 浅川中学校の校訓「誠実・自律・調和」を知っている



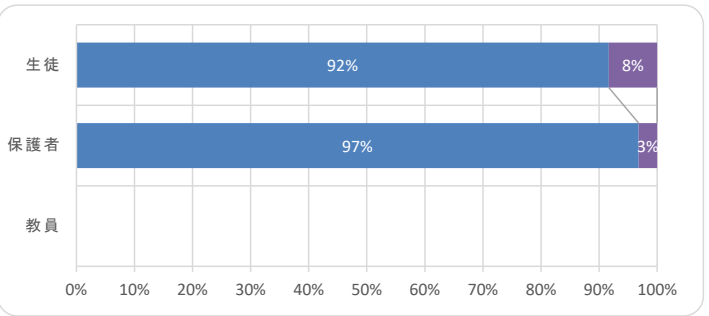
分析・コメント * アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のAの割合です。
●(生徒89%、保護者90%)
生徒、保護者ともに高い水準となっている。生徒より保護者の方により浸透しているようなので生徒の周知率を上げたい。
学校
●本校で行う教育活動の様々な場面で自律の心、調和・協働の精神、そして誠実さや素直な心を大切にするよう心掛けていきます。

2. 学校が力を入れている取り組み「学校林を活用した教育」を知っている



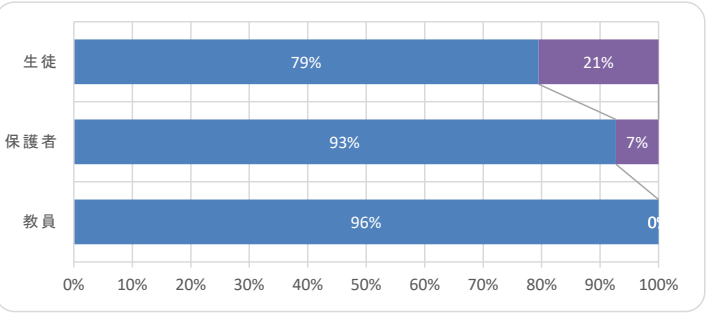
分析・コメント * アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のAの割合です。
●(生徒74%、保護者95%)
こちらも、保護者の浸透率が高い。生徒の周知率を上げていきたい。
学校
●学年別で見ると三年生での栗山学習が行われないことで数値が下がっていると考えています。9月には1年生が本校伝統の「栗山下草刈り」を行います。生徒たちの意識が高くなることを期待しています。

3. 学校が、浅川小学校との小中一貫教育を行っていることについて知っている



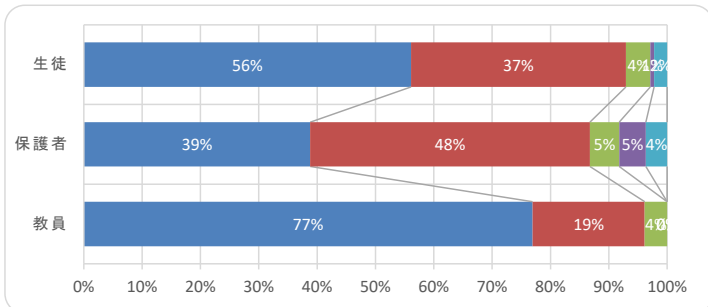
分析・コメント * アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のAの割合です。
●(生徒92%、保護者95%)
生徒保護者ともに90%以上と高水準となっている。今後とも一貫教育に力を注いでいきたい。
学校
●これまでの小中一貫教育への取り組みが徐々に定着し、認知されてきました。今後も良い連携で義務教育9年間での児童生徒の成長につなげていきます。

4. 浅川中学校運営協議会の、授業補助、部活動補助、漢字検定実施などの活動について知っている



分析・コメント * アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のAの割合です。
●(生徒82%、保護者90%)
前年度同様、保護者・教員に比べて生徒の認知度が低い傾向にある。直接関わっている生徒の認知度を上げていきたい。
学校
●生徒への周知の方法等を考え、地域に支えられている学校であるという意識を大切にさせたいと思います。

5. 学校は、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている



分析・コメント

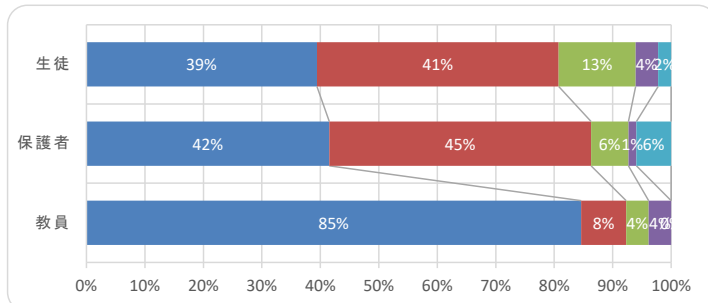
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒94%、保護者88%)
生徒に比べ保護者の肯定意見が少し低い。更に認めてもらえるようにしていきたい。

学校

●本校の教育活動では人権意識の醸成を大切な柱にしています。本校の学び合う授業や行事、委員会活動、部活動は、全て自他の大切さを認め合い、高め合う教育活動です。本校に関わる全ての人の理解を深めていきます。

6. 学級は、落ち着いて学習できる雰囲気である



分析・コメント

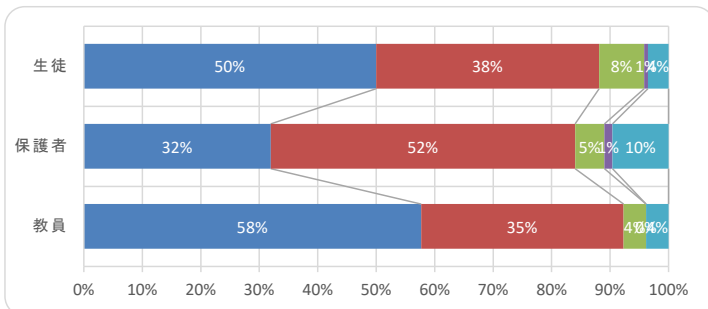
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒78%、保護者87%)
前年に比べ生徒の肯定意見が若干増えている。しかし、教員との認識のズレは気になるところ。

学校

●校内は落ち着いて学べる環境にあると捉えています。しかし一部の場面で落ち着かないと感じている生徒がいるのも事実です。更に落ち着いて学び合える学校を目指します。

7. 学校は、次のような点で授業の工夫に取り組んでいる(説明、板書、発問、視聴覚機器、ICT機器の活用など)



分析・コメント

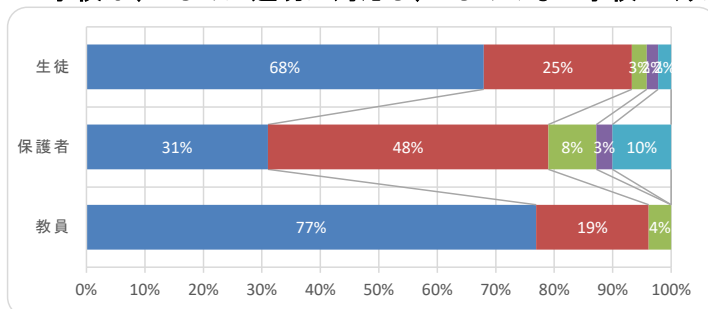
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒90%、保護者79%)
教員と生徒・保護者の見解に若干の違いが感じられる。教員の創意工夫がどのようにしたら伝わるか考えさせられる。

学校

●教員の授業改善、指導力の向上に常に前向きに取り組めます。保護者にも授業公開等の参観機会で見てもらえると良いと考えています。

8. 学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる



分析・コメント

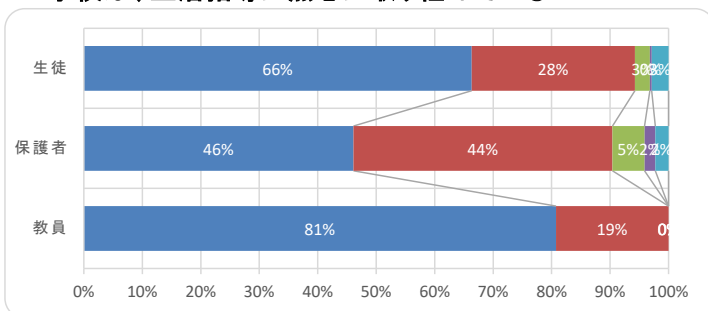
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒88%、保護者78%)
前回と比べると生徒の肯定意見が増えている。保護者の意見と温度差を感じる。保護者の意見を改善できるよう取り組んでいきたい。

学校

●今年度いじめ認定の可能性があったものが2件。どちらも解決済みです。引き続き、いじめのない学校を目指し、いじめ予防に力を入れた発達支持的な学級運営、学び合う授業づくりを行い、「優しい学校」を生徒と共に創っていきます。

9. 学校は、生活指導に熱心に取り組んでいる



分析・コメント

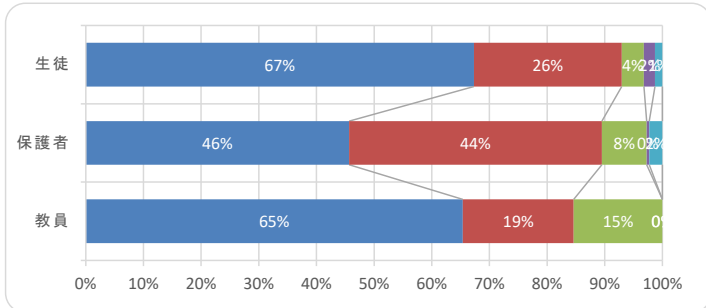
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒94%、保護者91%)
生徒・保護者ともに90%台と肯定的な意見が多い。教員の意見込みも感じる。このまま高水準を保てるよう取り組んでいきたい。

学校

●熱意をもって生徒を指導する教員、そのアドバイスを素直に聞き入れ改善していく生徒たち。より丁寧な指導を心がけ、このよい状態を維持していきます。

10. 学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

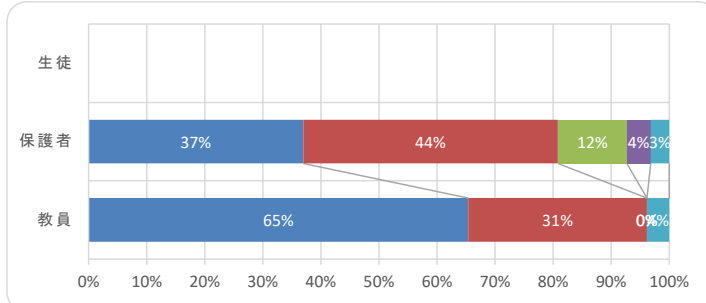
●(生徒94%、保護者91%)

生徒・保護者ともに90%を超えているが、教員の肯定度が若干低い。双方のズレを狭めていきたい。

学校

●生徒たちにもっと自分から意欲的に清掃活動に取り組んでほしいという教員の思いがあるのだと思います。今後も生徒の意識を少しでも高める指導を行っていきます。

11. 学校は、保護者に対して適切に情報を提供している



分析・コメント

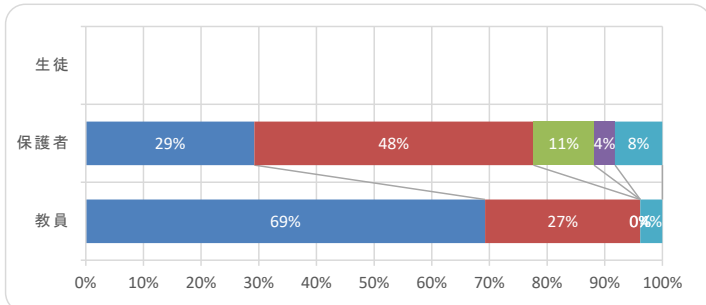
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(保護者84%) 保護者の肯定的意見の割合は前回同様である。教員との認識のずれが依然として課題の項目である。

学校

●「必要な情報をタイムリーに。」を意識して、Home&Schoolでの発信や学校、学年だより等での発信を丁寧に行い、適切な情報提供を心掛けていきます。

12. 学校の子供の学習に対する評価は、適切・公平である



分析・コメント

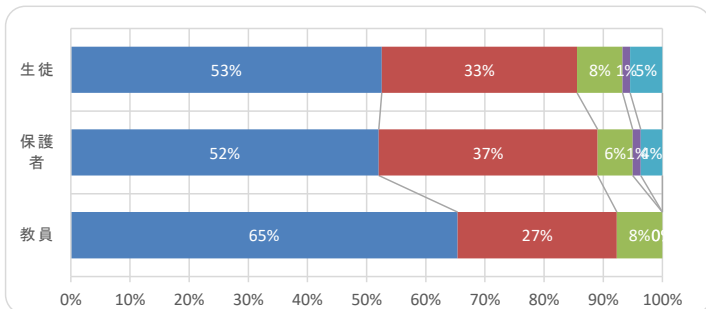
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(保護者79%) 保護者の肯定的意見の割合は前回同様。11と同様、教員との認識のずれが依然として課題といえる。

学校

●学年が上がるほど保護者の肯定的意見が増えていく傾向にあります。評価について丁寧に説明すると同時に、公正性や透明性をあるものにしていきます。

13. 先生は、生徒とよく話をしている



分析・コメント

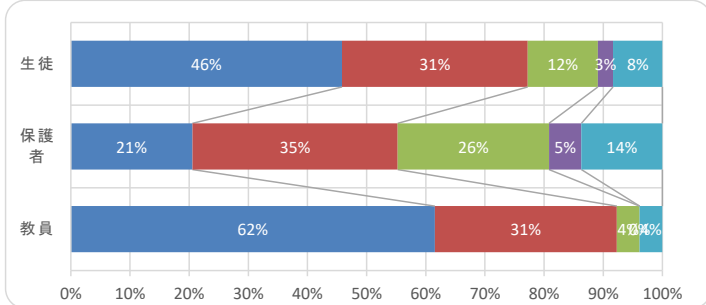
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒90%、保護者87%) こちらも前回同様の結果。生徒と保護者の認識のずれもない。いい傾向といえる。

学校

●今年度も良い状況にあると捉えています。生徒による個々の教員の授業アンケートにおいても生徒は教員との関係を肯定的に捉えています。今後もこの状況が続くように、さらに生徒に信頼される指導支援を行っていきます。

14. 職業調べ、職場体験、高校説明会などの進路学習を通して、自分の将来や生き方を考えるようになった



分析・コメント

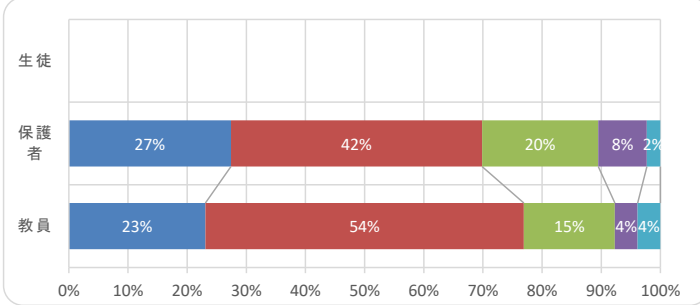
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒82%、保護者67%) 生徒、保護者ともに前回より肯定的認識の割合がダウンしている。学年別に見ると2年生の肯定的割合が高い。

学校

●ここでも学年が上がるにつれて数値は上がっています。2年生は職場体験準備に入り意識の高まりを感じます。今後も小学校との接続も意識したキャリア教育の充実を目指します。

15. 生徒は、学習にしっかり取り組んでいる(家庭学習も)



分析・コメント

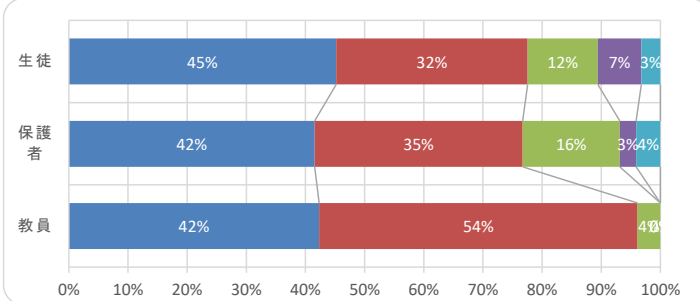
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(保護者72%) 前回よりも肯定的意見の割合が残念ながら少しダウンしている。

学校

●日々の授業は勿論ですが、家庭学習の習慣化や充実が自律につながり将来にわたって生徒たちの大きな生きる力となります。学校と家庭が連携しながら生徒たちを支援できればと考えています。

16. 生徒は、学級活動・生徒会活動に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

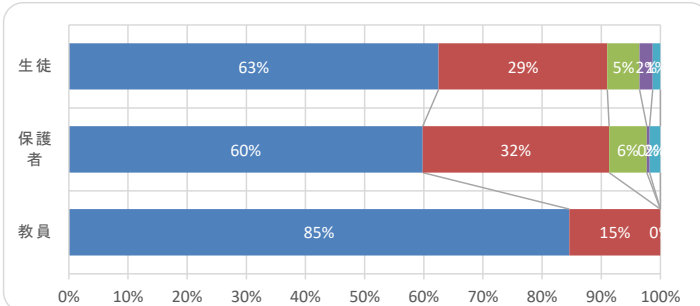
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒78%、保護者79%) 生徒、保護者ともに肯定的意見が8割。それに対し、教員の評価が高い項目であり、認識の差がみられる。

学校

●多くの生徒が前向きに学校生活を送る中で、生徒の自治活動が主体的に行われるようになってきています。生徒会朝礼や委員会活動の充実が生徒の自己有用感につながるよう支援していきます。

17. 生徒は、学校や学年の行事に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

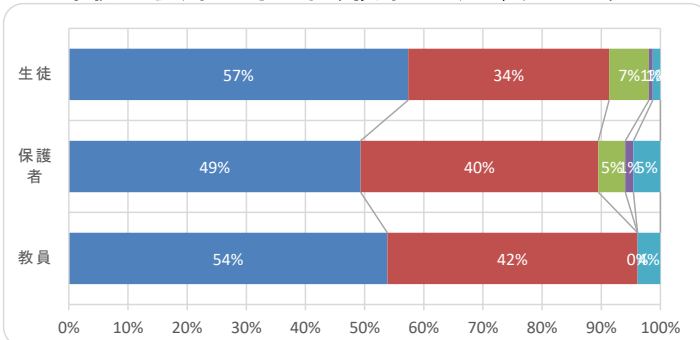
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒91%、保護者91%) 16と比較すると生徒、保護者ともに肯定的意見が90%と高い。教員は100%。体育祭などの実感、体感の成果か？

学校

●学校行事は生徒の自主性や主体性を重視した取り組みとなるように計画しています。ここでの自己有用感を各自の成長につなげることができていると感じます。一学期も素晴らしい体育祭を自分たちで作り上げた実感があつたのでしょうか。今後の音楽祭、福島移動教室、修学旅行、都内巡りにつなげてほしいです。

18. 本校が取り組む学び合う授業づくりは良いと思う



分析・コメント

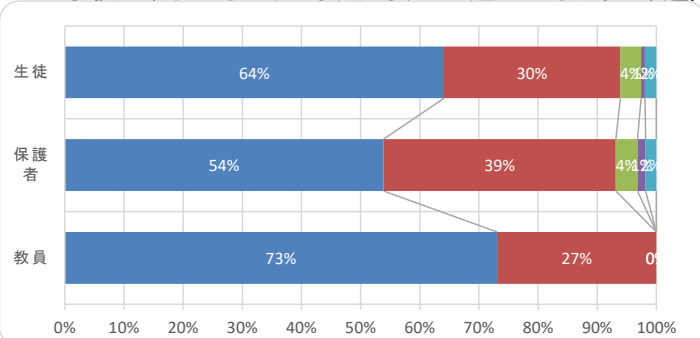
学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒92%、保護者90%) こちらも生徒、保護者、教員とも9割以上の肯定的意見。いい傾向といえる。ぜひ100%を目指して頂きたい。

学校

●生徒による学び合いアンケートによる評価も高いです。3年生の学び合う授業への意識の高さに、これまで継続して全校で取り組んできた成果が出ています。より深い学びにつながる工夫を行い、魅力ある楽しい授業となるように努力していきます。

19. 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒95%、保護者92%) 18同様、生徒、保護者、教員共に認識のずれがなく、肯定的意見が高い。日ごろの安全管理への取り組みの成果といえる。

学校

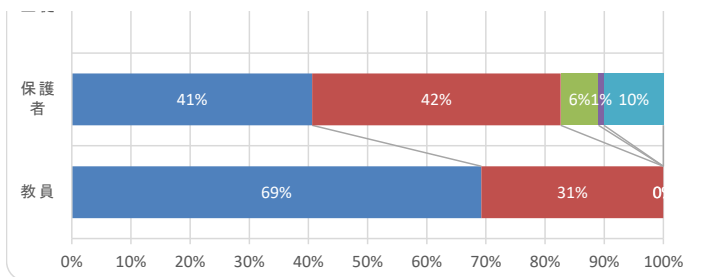
●数値同様に生徒たちの避難訓練への取り組み姿勢は大変良い状態です。今後も安全教育や防災への意識を高めるために学校全体で指導していきます。

20. 学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子ども)に対する教育に取り組んでいる。



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

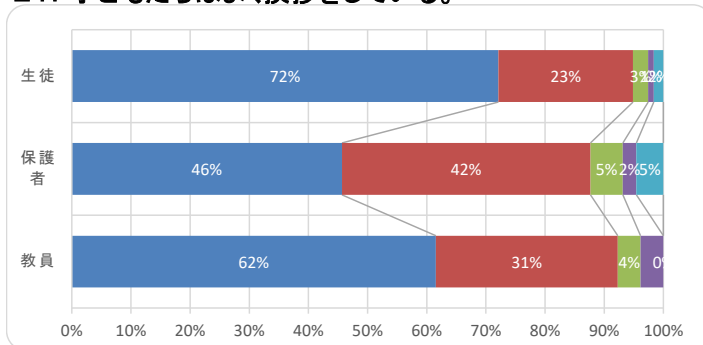


●(保護者81%)保護者の肯定的意見の割合は前回同様。いい傾向だが、保護者の否定的意見に改善の余地がある項目といえる。

学校

●特別な支援を必要とする生徒に対しての理解促進に学校全体で取り組んでいます。特別支援教室巡回指導教員による授業や八王子西特別支援学校との交流などの体験や情報発信が良い影響を与えたものと考えています。

21. 子どもたちはよく挨拶をしている。



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、昨年12月調査のA+Bの割合です。

●(生徒97%、保護者86%)生徒、教員の肯定的意見の割合が9割以上。とてもすばらしい。生徒の心がけと、実践への自信が感じられる。今後もぜひ継続して頂きたい。

学校

●浅川中伝統の挨拶は、浅川中生徒の誇れる一面となっています。これからも「前向きな挨拶で、自分を伸ばす。」そのような浅中生に期待しています。